

福祉と介護に特化

介護現場の労働環境の向上に取り組む



大仁田 まだ開業から間もないのですが、ここに至られるまでには様々なご経験を積んでこられたそうですね。

倉 国家公務員を振り出しに、複数の職場を経験しました。前職は介護関係の会社で管理者として働いていました。社会保険労務士の資格はその時に勤めながら専門学校に通い、三度目の挑戦で合格しました。

大仁田 そこまでご苦労をされて、新たに社会保険労務士を受験しようと思われたのはなぜでしょう。

倉 介護の現場では携わる専門職のスタッフが肉体的・精神的に疲弊し、身体を壊すなどして離職していく姿を数多く見てきました。これからの超高齢化社会を支えるのは彼らなのに、支える側がそのような状態では日本はこの先立ち行かなくなるだろうという危機感を覚えたのです。そこで、介護職の人達が尊厳を持って働ける職場環境をつくる一助になればと思います、社会保険労務士を志しました。

大仁田 そうすると業務内容としても介護関係に重点を置いたものになるのでしょうか。

倉 はい。社労士としてあらゆる分野にかかわろうとは思っておらず、福祉介護に携わる法人の助成金の申請代行・労務管理・就業規則の見直し、メンタルヘルスケアなどを通じてCS（利用者満足度）を向上させ、安定経営に繋げていきたいと考

えています。

大仁田 そういった取り組みをされるに当たり、特にこだわっておられることはありますか。

倉 通常の顧問契約では何か問題が起きてから対応するのが一般的なのですが、私が顧問としてかわるのであれば、事業所の運命共同体でありたいと考えていますので、月一回以上は事業所を訪問して職員の悩みなどを聞いたりしていきたいと思えます。介護をする側が良い状態で働けることが介護を受ける高齢者や障がい者の方々にとってのもプラスになると思いますので。

大仁田 現場を重視した業務展開はご自身の豊富な経験があるからこそ可能なのですね。では、今後の展望についてお聞かせ下さい。

倉 介護職の労務関係に光を照らせるような仕事をしていきたいですね。それで事務所の名前も自分の名前ではなく「テラス」としました。ヘルパー養成講座や福祉用具専門相談員養成講座などの講師もするのですが、福祉に従事する人材の育成にもかかわっていききたいです。そしてもう一つ、以前、障がい者を積極的に雇用していた会社で働いていた経験から、障がい者を職場に受け入れることの大切さを肌で感じましたので、障がい者の雇用促進にも取り組みたいですと思っています。

大仁田 ますますのご活躍を期待しています。

社会保険労務士事務所 テラス

北海道札幌市西区宮の沢1条5-1-48-301
TEL.090-8897-1295 FAX.011-876-8832
<http://www.sr-terrace.com/>

対
談

代表

倉 雅彦 ×

社会保険労務士
介護支援専門員

インタビュー

大仁田 厚

【プロレスラー・元参議院議員】